# 革新的河川管理プロジェクト（第一弾）

資料3

オープン・イノベーションを採用し、最新の科学技術を、スピード感をもって、6ヶ月～1年以内で河川管理への実装化を目指す。

## 河川管理の高度化 ［IoTの実装 ビッグデータの実装］

### 危機管理型水位計

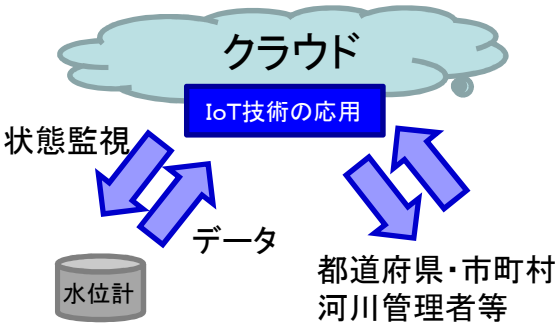
**課題**

- 初期投資がかかる
- 維持管理コストがかかる

水位計普及の隘路

**低コストの水位計を実用化し普及を促進**

- 長期間メンテナンスフリー
- 省スペース → 設定場所を選ばない（橋梁等へ添架）
- 通信コストの縮減
- クラウド化でシステム経費の縮減
- 低コスト（1台100万円以下を目標）




**水位計、浸水センサーの増設**

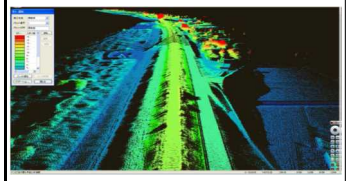
### 陸上・水中レーザードローン

**課題**

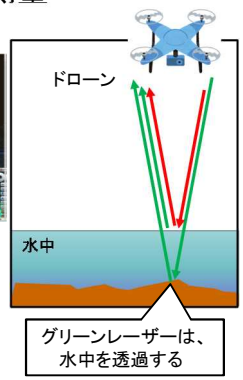
- 現在のドローン測量では植生下は×
- 航空レーザー測量はコスト大

**面的連続データによる河川管理へ**

- 航空レーザー測量システムを大幅に小型化し、ドローンに搭載
- グリーンレーザーにより水面下も測量
- 低空からの高密度測量



ビッグデータ




**河川管理の高度化**

中小河川へ展開

## 中小河川における危機管理の支援

① 危機管理型水位計の中小河川への設置推進

→ 水位観測の充実
→ 水位予測への活用

② 中小河川の河道を計測

→ 中小河川の水位予測へ活用

**中小河川の危機管理を支援**